



ハンガリー政府観光局 ニュース 2006年7月25日 No. 83

JAL チャーター初便を水のアーチで歓迎

ブダペスト・フェリヘジ空港は、7月28日にセントレアから到着する日本航空のチャーター初便を水のアーチで迎えるとともにターミナル内ではお客様への歓迎セレモニーを行う予定です。

ブダペスト空港の CEO である、Stewart Wingate は「世界一流の航空会社の一つがブダペスト空港を選び、フェリヘジ空港へジャンボジェットと共に多くのお客様を運んでいただくことは大変うれしく名誉なこと」と述べ、さらに「日本はハンガリーとの経済面、観光面の重要なパートナーであり、このチャーターが成功すれば、将来は JAL、Malev ハンガリー航空両社の Oneworld 加盟という事実も加わり定期便の就航も期待される。また一方、フェリヘジ空港が、中東欧における Oneworld センターの役割を担うことにもなる。」と述べています。

なお、JAL は B747-400 を使用して、ブダペスト着ベースで7月28日(セントレア)、29日、8月11日、12日(成田)、25日(関西)の5便のチャーターフライトを予定しています。詳細は、ブダペスト空港 <http://www.bud.hu/english/> (英語) から。



ブダペスト・フェリヘジ空港

日本人のお客様はトップ5

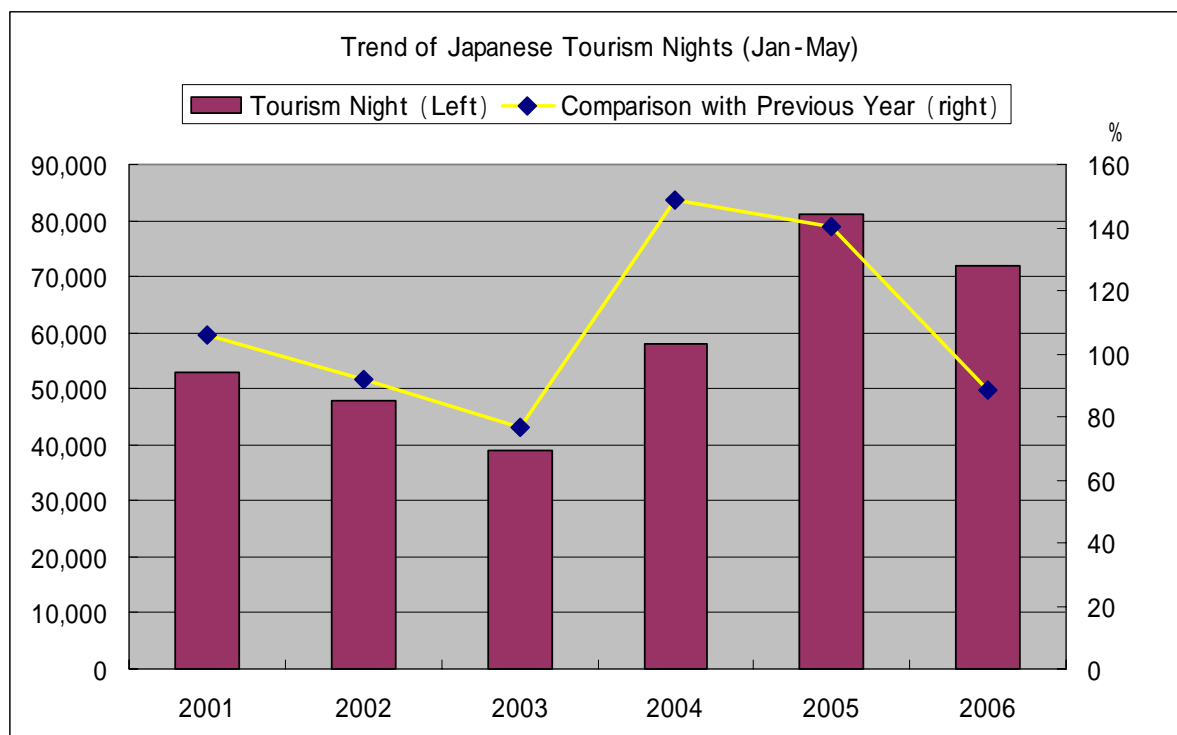
7月21日付日刊トラベルビジョンは、同社の特派記者のレポートとして、ハンガリー政府観光局総裁 Dr. Galla Gabor が、V4 グループ主催のスタディツアー参加者へのレセプションで、「日本人の宿泊数は第9位であるが、全て高級志向を好む日本人は経済的に見るとトップ5に入ると述べ、日本市場の拡大に意欲を示した。」と述べたと報じています。

記事の詳細は、<http://www.travelvision.jp/> から。

5月の日本人宿泊統計

ハンガリー国立統計局によると、2006年5月の合計日本人宿泊数は24,000泊で、前年比99.4%でした。また、1月から5月の日本人宿泊数の累計は72,000泊で同様に88.2%でした。

5月に入り月間宿泊数の対前年比がほぼ100%に近づいたことから、1月から続いていた調整局面を脱しつつあるものと推察されます。



2001年から2006年までの各年の初から5月までの日本人累積宿泊日数と対前年比の変化

ノスタルジック列車

ハンガリー国鉄は9月30日までの毎週土曜日に、ドナウベンドのエステルゴムまたはソブへ向け、ノスタルジック列車を運転しています。ブダペスト西駅を9:35に出発し、17時台に戻ります。片道約2時間から2時間半の旅で料金は片道2等車で944HUFです。また、8月19日までの火・木・土にはバラトン湖の北岸、ケストヘイとバダチヨニ間でも蒸気機関車列車が走ります。

詳細は <http://www.mavnosztalgia.hu/> (英語)から。



ブダペスト西駅で発車を待ノスタルジック列車(蒸気機関車)が牽引することも)